

## 公表 発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		キッズ・トーン				公表日	令和 7 年 3 月 11 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			十分に運動できるスペースを確保している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。	○			トイレに手すりがある。段差がない	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもが安心して過ごせる環境になっているか。	○			掃除を毎日している	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められているか。	○				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)が実施されているか。	○			毎日やっている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けているか。	○			利用者とコミュニケーションを常にとっている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			実地指導を受けています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修を実施しているか。	○			毎月研修を行っている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者の関係性を構築しているか。	○			半年に一度のモニタリング、アセスメントを行っている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者の承認を得ているか。	○			具体的内容を一度、保護者に確認してもらっている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォローアップを行っているか。	○			アセスメントシートによる聞き取りを行っている。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援活動の提供」に関する記載があるか。	○			具体的内容を保護者に一度確認してもらっている。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		○		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		○		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせているか。	○			必要に応じて個別・集団を分けている
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援内容を確認しているか。	○			指導前に会議している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援内容を確認しているか。	○			振り返りを行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に活用しているか。	○			記録、毎日とっています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要がある場合は見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との連携を図っているか。	○			
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育施設等と連携を図っているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進に取り組んでいるか。	○			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との連携を図っているか。	○			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じて支援内容を確認しているか。	○				

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこ	<input type="radio"/>			子ども食堂
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況	<input type="radio"/>			事業所内
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プ	<input type="radio"/>			
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を	<input type="radio"/>			変更などあれば
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の	<input type="radio"/>			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護	<input type="radio"/>			確認してもらっている。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に	<input type="radio"/>			事業所内。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等に。	<input type="radio"/>			イベントにて交流。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整	<input type="radio"/>			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用すること	<input type="radio"/>			LINEグループ(SNS)
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための	<input type="radio"/>			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運	<input type="radio"/>			子ども食堂。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、	<input type="radio"/>			
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備	<input type="radio"/>			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認	<input type="radio"/>			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対	<input type="radio"/>			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要	<input type="radio"/>			

応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策につい	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応	○			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的	○			